

第12回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成21年2月6日（金）午後7時00分～午後9時15分

場 所：市役所3階 第3会議室

出席委員：6名

欠席委員：3名

傍 聴：0名

事務局：3名

会議資料：①次第

②テーマと情報提供について（小針委員より第11回委員会資料と同一）

③参加決定通知一式

④市報2月5日号

⑤プレスリリースについて

⑥参加のお願い葉書

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

配布資料の確認（事務局）

2. 市民討議会の準備について

（1）市民討議会の進め方について

- ・全体の進行や情報提供者の紹介などは総合司会者が担うこととし、立川青年会議所の女性会員が行う。なお、情報提供の内容に関する事などは、実行委員長と小針委員が全体のファシリテータとして説明していくこととしたい。グループでは、前回に確認したようにAとBの大グループ担当のファシリテータ（実行委員）がまず質問を受け、判断できない場合は全体のファシリテータに聞きに行くという進め方でどうかと思う。

【主なご意見】

- ・グループごとのサポーターは不要だと思う。経験では、討議の方法さえわかれば参加者はどんどん進めるので、まわりにいる実行委員やスタッフが邪魔な感じさえすることがある。
- ・前回模擬討議会を経験したが、初めてのことでどのように意見を出してどのようにまとめるかの取りかかり方がわからなかったため、最初のコマだけは丁寧な説明が

必要と感じた。

- ・発表の仕方も最初はとまどうと思うので、やり方をアドバイスすると良い。
- ・大グループのファシリテータ用にも、マニュアル等をつくる必要があると思う。
- ・立川青年会議所の作成したビデオに討議の進め方を解説したものがあったので、1日目の討議の進め方のところでビデオを流すと良い。
- ・次回実行委員会でそのビデオを鑑賞してみて、もしビデオだけで判りにくければ、模擬討議会で作成した模造紙を使って補足説明をすると良いと思う。

【集約】

- ・立川青年会議所のビデオを次回実行委員会で確認する。
- ・模擬討議会で作成した模造紙を使って解説することとする。
- ・小グループごとのスタッフ配置は不とし、最初のセルは丁寧に説明することとする。

(2) 情報提供の内容について

- ・事務局から、情報提供者の候補となっている方のうち、現時点の依頼状況などについて報告した。

テーマ①「南部地域の魅力について」

テーマ②「南部地域の課題について」

テーマ③「南部地域を広く市民に知ってもらうにはどうしたらよいか」

テーマ④「南部地域を住みやすくするにはどうしたらよいか」

テーマ⑤「南部地域を豊かにするにはどうしたらよいか」

テーマ⑥「南部地域を住みやすく豊かにする、を実現するにはどうしたらよいか」

【主なご意見】

- ・テーマ④の情報提供者の候補である一人には、課題を踏まえて住みやすくするにはどういった点を改善すれば良いかということと、もう一人には環境保全や有機農業について意見がおありなので、それを聞きたい。
- ・テーマ④と⑤の情報提供者の候補である4名は、しっかり自身の意見を持っている方なので、あいまいにならず論点のはっきりした話を聞けるのではないかと思います。ただし、特定の考え方のアピールになってしまわないように気をつける必要はありそうだ。
- ・テーマ④と⑤の内容が重複しそうなのは、そもそも実行委員会の中で「住みやすさ」「豊かさ」の定義ができていないからだと思われる。以前の実行委員会で行った意見分類から「住みやすさ」「豊かさ」の要素を示して、どの部分を話していただくといったことを明確にしてみてもどうか。
- ・テーマ②以降の資料として地区説明会で出た意見の分類表をつくるが、その表の中

から絞り込んで情報提供者に依頼してみてもいいだろうか。

- ・ 情報提供者への依頼にあたって、あまりに細かいことをお願いすると誘導ともとらえられかねないため、むしろ分類表を見せてこの部分での話をお願いしたいと伝える方が良くもしい。
- ・ 細かい内容でなく、大まかに伝えることの方が良いように思う。
- ・ テーマ④では、一人には自然環境のこと、一人には土地区画整理を進めた立場からの話をお願いしたい。テーマ⑤では、お金の換算できる豊かさと換算できない豊かさという対立点があると思う。
- ・ テーマ④は住むことに重点を置いてどういう課題があるかということについて2つの立場からお話を聞き、テーマ⑤は財政的豊かさに対する2つの立場からの情報提供を期待したい。
- ・ テーマ④も⑤も情報提供者からはっきり違った意見を聞けることとなると思うので、参加者にはとらえやすいのではないかと。テーマ名のとおり「住みやすくするには」「豊かにするには」ということを参加者に考えていただければと思う。
- ・ 参加者が注意深く聞いていないと、2つのセルで同じような発言が生まれてくる心配がある。「豊か」の概念の中に「住みやすい」ということが含まれるので、どう説明したらわかりやすいだろうか。
- ・ 以前実行委員会で「住みやすさ」「豊かさ」について話し合った経過がある。この視点を資料の片隅に「実行委員会で出た意見の例」として参考として載せてみてはどうだろうか。
- ・ テーマ⑤は経済的側面と環境保全の側面を対比するような形で良いと思う。
- ・ 経済的豊かさということでは、精化園跡地のことで積極的に発言している人や青果市場を誘致したときに中心になって動いた方などのお話が聞けると良いと思う。商工会は南部地域に関する提言などがあれば、情報提供者の候補に加わる可能性がある。
- ・ テーマ⑥では、一人には市民と行政の協働の事例をお話してほしいし、もう一人にはご自身の経験に基づいた話と協働に焦点をおいた話を期待したい。
- ・ テーマ⑥の一人は、複数の市民意見を取りまとめて実現してきたという経験があると思うので、そういった話をしていただければと思う。苦労したことが現在どうなっているか、今後市民協働とはどうなっていくことが望ましいと考えているか、などをお聞きできればと思う。

【集約】

- ・ テーマ③の情報提供者が一人となる見込みのため、全体のファシリテータ（小林委員長、小針委員）から、市報で南部地域のことをどの程度発信しているのかなどを説明することとする。なお事務局で過去3年間の市報に南部の記事がどれくらい掲

載されたかの資料を作成してほしい。

- ・テーマ④の一人には、地域整備について居住者の観点から話していただくこととする。
- ・テーマ④の一人には、生活者としての環境保全や有機農業の取り組みなどについても話していただくこととする。
- ・テーマ④と⑤は話が重複しやすいので、資料を示して「いまはこの部分に関して話している」ということがわかるようにする。また話されなかった部分については、全体のファシリテータから補足説明を行う。
- ・テーマ⑤は、経済的豊かさの観点と、里山保全など環境的豊かさの観点から、対比する形で話していただくこととする。
- ・テーマ⑥の一人には、市民と行政の協働の事例を話していただくこととする。
- ・テーマ⑥の一人には、自身の経験として協働の事例を話していただくこととする。
(複数の対立する市民意見をとりまとめて実現していくという経験を話してもらい、苦労したこと、そのことが現在どうなっているか、今後の市民協働はどういうあり方が望ましいとお考えかなどをお聞きしたい。)

(3) サブテーマの説明文について

【主なご意見】

- ・3番の説明に「あまり知られていないことが南部地域の課題がなかなか解消しない原因の一つとされています」とあるが、多くの人に知っていただいた上で、みんながこの課題を共有していこうという趣旨であるので、「より多くの方に知っていただくことが、課題の解決の糸口になるかもしれません」という表現に直してはどうか。
- ・説明文では「意見」を「お話」に、「踏まえて」を「参考に」と統一したほうが良い。
- ・5番の説明にある「区画整理が進まないことで農家の方が苦労する」という表現は適切であろうか？
→民間の土地区画整理では地権者の合意形成で苦労しているといった背景はある。
各地権者の事情がさまざまであるため、土地区画整理を実施すべき地域であってもなかなか進んでいない現状はある。課題としては、道路が未整備なため建築できないなどの現実や、道路に接しないということで他の人の土地から出入りしているなどということはあると思う。無接道の宅地をなくすことも土地区画整理事業のひとつの目的である。
- ・農地の集約も土地区画整理事業でできると聞いたが。
→土地区画整理事業によって現在点在している農地を地権者どおしで話し合うことにより集約化や集合化ができる。

- ・建ぺい率の課題も土地区画整理事業と関係があるか？
→土地区画整理事業を実施した地域に関しては地区計画という制度を活用し、建ぺい率と容積率を向上している。
- ・宅地化にも関係するののか？
→宅地化するには道路が必要であり、一般に宅地造成では道路を新設しその道路に接する形で宅地を造成する。この場合は部分的な基盤の整備のため、建ぺい率や容積率の向上はしていない。
- ・後継者問題を抱えている人は宅地化を期待して道路が必要であろうし、あるいは効率的な農業を考えている人にとっても道路が必要ということになると思う。そういったことの合意形成をしていくのだから、土地区画整理事業の苦労はあると思われる。
- ・土地区画整理が進まないことで苦労しているのは農家だけでないこともある。合意形成の難しさが苦労のひとつの理由となっていることがわかった。説明としては農家に限定しないことで良いのではないか。(質問があれば情報提供者にお答えいただくと良いと思う。)
- ・土地区画整理事業では公園や緑地を確保しそれは地域の財産になっていくので、それが豊かさという観点での話も考えられるのではないか。
- ・6番の説明に「一般的に」とあるが、理論上のことであって、まだ一般的ではないかもしれない。確かにまちづくり系の話では行政、NPO等、市民の三者の連携が一般的なもののようによく語られるが、現実では高度成長期には行政主導のまちづくりが行われてきたし、事業者が主導するまちづくりもあるので、ここで「一般的」と言い切ることもできないかなと思う。(今後は一般的になっていくだろう。)
- ・国立の場合は、市民が勉強会をしたり行政への提言をしたりしてきているので、三者の連携と聞いて違和感のない人もいるだろうが、実際には「民間の諸団体」と「一般市民」の間に位置づくような形かもしれない。
- ・団体というと組織的にしっかりしているイメージがあり、グループというと人のサークルといったイメージがあるため、「様々な民間の団体やグループ」としてはどうか。

【集約】

- ・3番目の修正「～ありませんでしたか？より多くの方に知っていただくことで、課題の解決の糸口になるかもしれません。今回はどうしたら南部地域のことをもっと多くの市民の方々に知っていただくことが出来るのかを考えていただきたいと思います。情報提供者の方々のお話を参考に意見を出し合ってみてください。」
- ・4番目の修正「昨日のテーマでも」はアドリブ対応のため括弧書とする。「情報提供者の方のお話を参考に」
- ・5番目の修正「農家の」は削除。

- ・6番目の修正「～実現できると思いますか。まちづくりには「行政」「様々な民間の団体やグループ」「市民」などが自分の役割を自覚して協働することが大切だと思います。」と「情報提供者の方々のお話を参考にして、」

(4) 当日配布資料について

【主なご意見】

- ・テーマ①と③の資料については、情報提供者が作成してくださると思う。
- ・テーマ②④⑤については、夏に行われた説明会の意見等を実行委員会で分類した結果を資料としてはどうか。A3版見開きとし、「住みやすさ」と「豊かさ」を示すものをカラーで色分けすれば1枚で表現できる。
- ・テーマ③の資料として、市報において南部地域の記事がどのくらい取り上げられているかを調べ事務局で作成してほしい。
- ・テーマ⑥は有識者自身で作成してくださると思うが、打合せの段階でお聞きしながら資料を整えてほしい。
- ・参加者が情報提供者の話聞きながら見る資料ということだが、他の事例ではどのくらいの資料を用意しているのか？
→事例によって分量は全く異なるが、話に集中していただくためにも分量はあまり多くない方がよいと思う。高齢者にも見やすいよう、文字の大きさは14ポイント程度でA4版が理想である。
- ・情報提供者の当日資料については、テーマに対する理解の相違や誤解がないかの確認のため、事前に実行委員会で確認しておく必要がある。
- ・情報提供者が所属する団体の宣伝資料やパンフレットなどは、討議の内容に直接関係ないものはその場での配布はやめていただく。終了後に受付付近へ置いてご自由にお持ち帰りいただくことは良いと思う。

(5) 情報提供者について

- ・事務局から次の3点について審議をお願いした。
 - ① 情報提供者への依頼段階で他の情報提供者の情報を伝えるべきかどうか
 - ② 情報提供者にはある段階で他の情報提供者の情報などの提供を行うのかどうか
 - ③ 参加者に対し情報提供者の情報を配布するなど公表するのか

【主なご意見】

- ・誰が情報提供者となるかについては事前に知らせていなかった事例がある。(ドイツのプラーヌンクスツェレの場合は、事前の円卓会議でどういう論点や対立意見があるのかが出てくるため、情報提供者や意見の内容は予測がつくとのことであ

る。)

- ・ 情報提供者に事前に知らせることで、情報提供の内容に影響があるような可能性があるのであれば、伝えない方が良くはないかと思う。
- ・ 誰が同席するかによって話の内容が影響されるなどデリケートな面を考えると、できれば伏せておけるものならそのような対応をしてほしい。
- ・ 最終的に報告書として公表されることは了解していただくようにしてほしい。

【集約】

- ・ 情報提供者に他に誰が何を話すか、事前の情報としては伝えない。

3. その他

①報告事項

- ・ 2月4日 参加決定通知書を送付、再度の参加依頼925通、
プレスリリース実施後、朝日新聞から取材があった
- ・ 2月5日 市報掲載
- ・ 参加予定者は本日現在41名

②次回以降の実行委員会の日程

- ・ 第13回 2月12日(木) 運営の流れについて
- ・ 第14回 2月19日(木) 会場にてリハーサル
リハーサルの内容は、会場における原稿読み、スタッフ配置、掲示物、動線の確認、空調検証など。市役所に集合し分乗して会場へ向かう。(必要な事務用品は追って連絡)

④後の予定

- ・ 1日目の南部地域見学ツアーは実行委員も同行する。
現地見学ツアーの下見を行うこととしていたが日程的に難しいので、実行委員は当日の見学ツアーに参加することとなった。なお、小林委員長と小針委員で下見するとの話があった。(事務局はルート選定も含めて要下見)
- ・ 市民向けの中間発表会については次回以降検討する。
- ・ 報告書の内容については次回以降検討する。
- ・ 事務局に備品の準備を進めるよう指示があった。

以上